

【令和2年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和2年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

あった時期	申請方法	奨学会等名	給付／貸与	金額（円）	受給期間	課程				年齢	専門分野	併用条件	出 願 資 格 等			その他の主な要件	全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数
						学部	修士	博士	研究生				学力優秀	経済困難	面接						
12月	大学推薦	<H30～R2年度募集なし> （公財）大林財団	給付	50,000円／月額	翌年度4月～3年間	○ 2年生				22歳以下	日本学生支援機構、学内奨学金のみ併用可	○	○	○	・就業経験のない者（アルバイト除く） ・都市に関連ある分野の実業、実務または学術研究に将来従事しようとする者（学部・専攻問わず） ・人物、学業、健康ともに優れている者 ・経済的な理由で就学が困難な者（税込の世帯年収が800万円未満、退職金等の臨時収入含まず） ・奨学生交流会、授与式、修了式等、財団の行事に必ず出席できる者 ・2020年2月現在、学部2年生在学以上の者 ・学業成績優秀かつ学費の支弁が困難である者 ・採用後、奨学財団が指定する銀行に自身で普通預金口座を開設できる者 ・財団指定行事への出席を優先できる者	—	—	—	—	—	
12月	大学推薦	（一財）岩崎ととも奨学財団 【翌年度支給】	給付	30,000円／月額	1年間	○ 2年生以上	○	○			併用可	○	○	○	・学業成績優秀かつ学費の支弁が困難である者 ・採用後、奨学財団が指定する銀行に自身で普通預金口座を開設できる者 ・財団指定行事への出席を優先できる者	30名	1名	8名	1名	0名	
12月	直接応募	（公財）東亜留学生育友会 【翌年度支給】	給付	30,000円／月額	1年間		○	○						○	・大学院の正規課程に在籍している日本人学生 ・他の奨学金を月額15万円以上受給していないこと ・月例会（月1回、原則第2曜日に開催、奨学金を手渡し）に毎月出席可能であること	若干名					
12月	直接応募	（公財）山田長浜奨学会 【翌年度支給】	給付	120,000円／月額	1年間	○ 進学者含む	○ 進学者含む	○ 進学者含む		35歳未満	併用可	○		○	・2019年4月現在、国内に居住する者 ・毎月指定の奨学金給付日（第2金曜日）に直接受け取りに来られる者 ・過去に当財団の奨学金を受給していた者は応募不可 ・在籍中に海外留学する者（予定者）は除く	6名					
12月	直接応募	（一財）佐々木樹樹育英会 （デザイン・工芸美術専攻学生奨学金）	給付	学部：500,000円／年額 大学院：1,000,000円／年額	2020年4月～1年間 （在学中に限る）		○	○		29歳以下（2020年4月1日現在）	グラフィックデザイン、工芸美術（彫刻、陶芸、漆工、テキスタイル等）、プロダクトデザインほか			○	・日本国籍を有し、学部・大学院においてデザインまたは工芸美術を専攻する者で次の全てに該当する者 ・デザインまたは工芸美術の専攻分野で優れた感性と知識がある者 ・優れた作品を通じて、社会の発展に寄与するという高い志と熱意を有する者 ・専攻分野にて独立し、東京圏にてデザイナーまたはアーティストとして活動を志している者 ・奨学金給付通知状と式に必ず出席できる者（原則として欠席する場合は採用が取り消される）、財団主催イベント等に原則出席できる者 ・日本国内に居住し、日本国籍を有していること ・2020年度に在学しており、2021年4月時点で学部2～4年生または博士課程前期1～2年生に連続見込みであること ・情報系の学部・学科等に在籍していること ・最短修業年限で卒業見込みであること ・成績基準（詳細は募集要項を参照）あり ・財団が企画する行事（懇親会等）へ参加できること	若干名					
12月	直接応募	<新編財団> （一財）TCS奨学会 【翌年度支給】	給付	50,000円／月額	1年間	○ 2年生以上	○ 進学者含む			情報系	併用可（ただし審査基準事項の一部となる）				・日本国内に居住し、日本国籍を有していること ・2020年度に在学しており、2021年4月時点で学部2～4年生または博士課程前期1～2年生に連続見込みであること ・情報系の学部・学科等に在籍していること ・最短修業年限で卒業見込みであること ・成績基準（詳細は募集要項を参照）あり ・財団が企画する行事（懇親会等）へ参加できること	30名程度					
12月	直接応募	いわき市未来につなぐ人財応援奨学金返還支援事業（再募集）	返還補助	在学中に貸与を受けた奨学金の2分の1の額 ※ただし、（64,000円×奨学金貸与月数）の2分の1の額又は1,536,000円のいずれか少ない額を上限とする			○	○	○						・学部、大学院に在学中で平成31年度に修業年限以内で卒業（修了）予定の者 ・在学中に日本学生支援機構第一種奨学金・第二種奨学金、いわき市奨学金、福島県奨学金の貸与を受けている者 ・卒業（修了）した翌月1日から起算して6か月以内に市内事業所等（詳細は募集要項参照）に正規職員または所定労働時間が正規職員に準じる者として就職することを予定している者 ・卒業（修了）後、いわき市内に定住することを予定している者	38名程度					
1月	大学推薦	（公財）帝人奨学金 帝人久村奨学金（修士課程） 【進学後支給】	貸与	80,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで		○ 進学者			医学・薬学・バイオ工学系、理学系、工学系、情報系	併用可	○		○	・2020年秋または2021年4月に国内大学の修士課程に進学することが決定している、または見込まれている大学院生 ・専門領域あり ・修了後、財団指定の大学研究機関等で学術研究活動に所定期間（貸与期間の2倍の期間）従事した場合には返還が免除される制度あり	10名程度 （うち1名程度は留学生）	3～5名 （留学生含む）	0名	0名	0名	
1月	直接応募	（公財）芸術協会<広島県>	貸与	20,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○	○	○			併用可	○	○	○	・広島県内の高等学校もしくは中学校を卒業した学部生、大学院生で東京都内並びにその周辺の大（学）学を含む）に在学者 ・学習状況が良好であり、経済的理由により修学が困難であること ・収入状況および学習状況は、日本学生支援機構の収入基準額および成績条件に準じる	記載無					
1月	直接応募	（公財）野島財団	給付	50,000円／月額	最短修業年限まで	○ 2～3年生					給付型奨学金との併用不可	○		○	・2020年4月時点で学部2～3年生であること ・学業に對して熱意をもって取組み、社会に対する貢献意欲の高い者	19名					
1月	直接応募	山形県若者定着奨学金返還支援事業 （地方創生枠） （市町村連携枠） （産業団体等連携枠）	返還補助	28,000円×支援対象の月数又は奨学金の返還残高のいずれか低い額		○	○								・山形県内の高校、特別支援学校高等部または専修学校高等課程を卒業または卒業見込みの者 ・卒業（修了）後6か月以内に山形県内に居住、就業（詳細は募集要項参照）し、3年以上継続する見込みの者 ・支援対象の産業分野（商工、農林水産、建設、医療・福祉等）に就業希望の者 ・日本学生支援機構第一種奨学金または第二種奨学金、山形県内市町村が実施する奨学金の貸与を受けている者（地方創生枠は第一種奨学金のみ対象、市町村連携枠は、市町村によって対象の奨学金は異なる、産業団体連携枠は、企業等によって対象の奨学金は異なる）	（地方創生枠） 100名 （市町村連携枠） 150名 （産業団体等連携枠）50名					
2月	大学推薦	<2020年度で募集終了> （公財）浦上奨学会<広島県> （春季募集）	貸与	5万・6万・7万・8万円／月額のうちから選択（無利子）	最短修業年限まで		○ 進学者	○ 進学者			併用可	○	○		・広島県出身者で2020年4月に大学院に入学する者 ・最終修業年限で修了した場合、返還額を半額免除する制度あり ・日本学生支援機構第一種奨学金の対象となる人と同程度の経済的理由により修学が困難な者	記載無	1名	0名	0名	0名	
2月	大学推薦	（公財）古河記念基金	給付	自宅：30,000円／月額 自宅外：35,000円／月額	最短修業年限まで （最長6年）	○ 2年生以上	○	○		理工科系（特に金属その他資源関係を優先）	併用可	○	○	○	・日本国籍を有し、2020年4月現在、学部2年生以上または大学院に在籍する理工科系専攻（薬学系含む）の者 ・金属その他資源関係の学生を優先とする ・学業および人物とも優秀かつ健康で、卒業までの進級が十分見込めること ・家庭の経済状況が2019年の年収900万円を超えないこと（税込、年金収入および兄姉の収入は算入しない）	記載無	1名	学部13名 院3名	学部0名 院1名	学部0名 院1名	
2月	大学推薦	（公益信託）松尾金蔵記念奨学基金	給付	1,000,000円／年額	最短修業年限まで （3年以内）		○ 1年生		○ 1年生	30歳以下 （令和2年4月1日現在）	併用不可	○	○		・令和2年4月修士（博士前期）課程および博士後期課程に入学した者 ・大学院において文学・哲学（宗教学・美学・美術史を含む）、言語学・人文地理学・文化人類学・教育学・心理学・社会学・史学等（経・法を除く人文社会）を学ぶ者 ・品行方正、健康で学業成績優秀かつ勉学の意欲に富んだ者 ・修士と奨学金の併用を必要とする者 ・修士：家計支持者の前年度年収が原則税込800万円以下 ・博士：本人の前年度年収が原則税込250万円以下	10名程度	修士1名 博士1名	修士1名 博士0名	修士1名 博士0名	修士0名 博士0名	
2月	大学推薦	（公財）吉田育英会 マスター21 【進学後支給】	給付	1奨学金80,000円／月額 または 学校給付金 奨学期間内に合計 2,500,000円以内の実費 2海外研究活動支援奨学金 奨学期間内に合計500,000円以内の実費	修士（博士課程前期）入学月から2年以内	○ 4年生				27歳未満 （2020年4月1日現在）	自然科学系	給付奨学金との併用不可	○	○	・2020年4月1日現在、学部4年に在学中の日本国籍を有する者 ・2020年4月1日現在、27歳未満の者 ・2020年秋季または2021年春季に日本の大学院修士（博士前期）課程に入学を希望する者（他大学への進学も可） ・奨学生証授与式、懇親会、新規採用者交流会等財団主催行事への参加あり	15名	1名	4名	1名	0名	
2月	大学推薦	（公財）吉田育英会 ドクター21 【進学後支給】	給付	1奨学金200,000円／月額 2学校給付金 奨学期間内に合計 2,500,000円以内の実費 3海外研究活動支援 奨学期間内に合計1,000,000円以内の実費	博士課程後期入学月から3年以内	○ 2年生				30歳未満 （2020年4月1日現在）	自然科学系	給付奨学金との併用不可	○	○	・2020年4月1日現在、修士（博士前期）課程2年次に在学中の日本国籍を有する者 ・2020年4月1日現在、30歳未満の者 ・2020年秋季または2021年春季に日本の大学院博士後期課程に入学を希望する者（他大学への進学も可） ・奨学生証授与式、懇親会、新規採用者交流会等財団主催行事への参加あり	5名程度	2名以内	2名	2名	1名	
2月	大学推薦	（一財）大西・アイ記念財団 <香川県>	給付	80,000円／月額	最短修業年限まで	○		○		学部：満23歳以下 院：満33歳以下		○	○	○	・香川県内の高等学校を卒業し、他都道府県の大学・大学院に在籍するもの ・目安となる家計収入の上限は、世帯収入が給与の場合は年収600万円未満、給与以外の場合は所収340万円とする ・心身ともに優れている者 ・前年度までの成績（GPA）が3.00以上	10～15名程度	学内選考無	0名	0名	0名	
2月	大学推薦	（公財）エンブレ教育振興財団	給付	50,000円／月額	最短修業年限まで	○ 2年生				理工学部	給付奨学金（日本学生支援機構給付奨学金除く）との併用不可	○	○		・2020年4月時点で理工学部の2年生であること ・学業優秀であり、経済的援助が必要と認められる者 ・心身ともに優れている者（高い志を持ち、品行が正しく、将来良識ある社会人としての活躍が期待できる者） ・前年度までのGPAが原則2.50以上の成績であること	9名程度	2名	3名	2名	1名	
2月	大学推薦	（公財）同盟育成会 吉野給付奨学金	給付	学部：40,000円／月額 修士：60,000円／月額 （初年度4～7月分を8月に、8月以降は偶数月に2か月分ずつ支給）	最短修業年限まで （最長2年）	○ 3年生	○ 1年生				併用可	○	○		・2020年4月に学部3年生に進級または2020年4月に修士（博士前期）課程1年生に進学し、ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指して勉学に励んでいる者（卒業後の進路の拘束はなし） ・志望堅固、健康優良で学業成績優秀な者（学部：12年次の成績で優以上の評価が5割以上、院：学部3・4年次の成績で優以上の評価が5割以上）で学費の援助が必要であると認められる者 ・作文（大学院生は研究レポート）、アンケートの提出および財団が主催する研修会に出席できる者	25名	学部3名 院3名	学部1名 院1名	学部1名 院1名	学部1名 院1名	
2月	大学推薦	（公財）松葉奨学育成基金 <長崎県>	貸与	42,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○					併用可	○	○		・長崎県内に住所を有する者の子弟で次に該当する者 イ 交通手段により家族の支援または保護者が死亡または重度の後遺障害のため就業不能となった結果、経済的に支障を生じ、進学あるいは修学の継続が困難となった者 ロ イ以外で同様に富み、有能な素質を持ちながら、家庭の経済的理由によって、進学あるいは修学の継続が難しく困難である者 ハ、ロ以外の場合は成績優秀（5段階評価で概ね3.3以上）、品行方正で身体健康である者 ・交通通阻（に該当する者）は、貸与した奨学金の半額について返還を免除する	記載無	記載無	0名	0名	0名	
2月	大学推薦	（公益信託）萬谷記念がなわ奨学基金	給付	修士：800,000円／年額 博士：1,200,000円／年額	修士2年以内 博士3年以内	○ 1年生	○ 1年生			理学・工学	併用不可	○	○		・令和2年4月現在、理学・工学を学ぶ修士課程および博士課程1年次の日本人学生 ・家族の生計を支える者の前年度の年収または本年度の見込みが原則税込700万円以下 ・品行方正、健康で学業成績が優秀であり、勉学にいうえて奨学金の援助を必要とする独身者	5名程度	3名以内	12名	3名	3名	
2月	大学推薦	（公財）フジシール財団	給付	学部：50,000円／月額 大学院：60,000円／月額	最短修業年限まで （各学年進級時に継続審査あり）	○ 3年生	○ 1年生				日本学生支援機構給付・貸与奨学金のみ併用可				・向上心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正である者 ・商品パッケージの研究開発に従事するとに興味・関心のある者 ・チャレンジ精神が旺盛で国際感覚をもつ者 ・財団主催の座談会、研修会に必ず出席できる者	学部50名程度 院20名程度	学部1名 修士1名	学部1名 修士6名	学部0名 修士1名	学部0名 修士1名	
2月	大学推薦	（公財）旭硝子財団 ※旧旭硝子奨学会	給付	修士：75,000円／月額 博士：100,000円／月額	最短修業年限まで	○ 1年生	○ 1年生				修士：併用可 博士：10万円以上の給付型奨学金との併用は不可	○	○		・2020年4月現在、修士（博士前期）課程1年または博士後期課程1年に在籍する日本国籍を有する者 ・品行方正、学術に優れ、健康であり、学費の支援が必要と認められる者 ・独自の発想に基づき、社会に有用で波及効果も高い研究テーマに取り組む者 ・持続可能な社会の実現に向けて取り組む意欲が高い者 ・社会人学生は不可、学生の身分を保持しまたは大学などから報酬を受ける場合（アルバイト、TA、RA、助教等）は実施期間および報酬額によって応募可否が変わるため、申請時に申し出ること ・奨学金授与式等財団指定行事に必ず参加できる者 ・秋入学応募可能だが、支給期間が約半年短くなる	修士15名 博士15名	修士2名 博士2名 （人文1、自然1） （人文1、自然2）	修士18名 （人文1、自然1） （人文1、自然1） 博士2名 （人文1、自然1） （人文1、自然2）	修士2名 （人文1、自然1） （人文1、自然1） 博士1名 （人文1、自然1） 博士1名 （人文1、自然1）		
2月	大学推薦	JES日本語教育普及奨学金（協定）	給付	50,000円／月額	最長2年間 （在籍期間中に限る）	○	○	○			協会が実施する他の奨学金との併給不可				・令和2年4月に学部または大学院に正規生として在籍し、日本語指導者を目指す者 ・2019年度実施の日本語教育能力検定試験に合格した者 ・採用された場合の受給期間が令和2年4月より1学年相当以上ある者 ・採用された場合、受給期間終了まで本奨学金を辞退して他の奨学金を受給することはできない	50名程度	3名程度	学部0名 院1名	学部0名 院1名	学部0名 院1名	
2月	大学推薦	（一財）清水育英会	給付	50,000円／月額	最短修業年限まで	○ 2～4年生				学部満23歳以下 院満33歳以下 （2020年4月1日時点）	建築、土木又は都市計画等	併用可	○	○	・出願する年度の4月現在、建築、土木または都市計画等を						

【令和2年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和2年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲載板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

あつた時期	申請方法	奨学会等名	給付／貸与	金額（円）	受給期間	課程				年齢	専門分野	併用条件	出 願 資 格 等			その他の主な要件	全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数
						学部	修士	博士	研究生				学力優秀	経済困難	面接						
3月	大学推薦	（公財）中部奨学会	給付／貸与	学部生：給付・貸与35,000円／月額 修士：給付・貸与60,000円／月額 博士：給付60,000円／月額 ※貸与は無利子	最短修業年限まで	○	○	○				併用可	○	○	○	・人物、学業ともに特に優れ、健康にして経済的理由（日本学生支援機構第二种奨学金の対象となる者と同程度）により著しく修学が困難な者	学部（給付4名、貸与5名） 修士（給付2名、貸与4名） 博士（給付6名）	学部、修士、博士それぞれの募集人員数を超えない範囲	学部11名 修士13名 博士2名	学部1名 修士0名 博士0名	学部0名 修士0名 博士0名
3月	大学推薦	（公財）日本証券奨学財団	給付	自宅生：45,000円／月額 自宅外生55,000円／月額	最短修業年限まで	○ 2年生	○ 1年生	○ 1年生		学部22歳以下 修士25歳以下 博士28歳以下 （2020年4月1日現在）		他の奨学金（日本学生支援機構貸与型奨学金は除く）との併給・併給不可	○	○	○	・学部2年生または修士および博士課程の1年生 ・将来社会の各分野において指導的役割を担う志のある資質優秀な者 ・財団の各種行事等に出席できる者	55名	3名	学部2名 院5名	学部0名 院2名	学部0名 院2名
3月	大学推薦	（公財）山口県ひとづくり財団 《山口県》	貸与	43,000円／月額（無利子） （定住促進奨学金加算の場合は63,000円）	最短修業年限まで	○						貸与奨学金との併用不可	○	○		・保護者が山口県内に住所を有している者 ・向学心に富み可能な素質を有し、経済的な理由により修学が困難と認められる者 ・卒業後、山口県内の企業等へ就職し、山口県内に定住（継続して5年以上山口県内に住所を有すること）する意思のある者に対して「定住促進奨学金 月額貸与20,000円」を加算することも可	記載無	学内選考無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	（公財）みずほ育英会	貸与	学部：50,000円／月額（無利子） 大学院：60,000円／月額（無利子） ※みずほ育英会事務局にて直接交付	最短修業年限まで	○	○	○				併用不可（日本学生支援機構貸与・給付奨学金は除く）	○	○	○	・保護者年収目安900万円以下 ・毎月月上旬にみずほ育英会事務局で直接奨学金を交付（首都圏在学者のみ） ・財団主催行事への参加あり ・貸与奨学生のうち、主たる家計支持者の事情により、著しく学費の支弁が困難と認められた者に対しては、選考委員会の審議を経て理事長が決定したうえで給付奨学金（学部生30,000円／月額、大学院生40,000円／月額）が支給される可能性がある	記載無	2～3名	学部3名 院0名	学部3名 院0名	学部3名 院0名
3月	大学推薦	（公財）三菱UFJ信託奨学財団	給付	35,000円／月額	最短修業年限まで	○ 2年生				満23歳以下（出願する年の4月1日現在）	経済学部、経営学部、理工学部	併用可 （財団に届出必要）	○	○		・出願する年の4月1日現在、学部2年生の者 ・父母の税込年収合計800万円未満（ただし、就学中の兄弟姉妹が本人を含め3人以上の場合、税込年収1千万円未満を基準） ・財団主催行事への出席を優先できる者 ・心身ともに健康で、学業成績、人物ともに優れている者 ・将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に貢献しようとする者、またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者 ・年1回、大学において財団との面談あり	記載無	2名	4名	2名	2名
3月	大学推薦	川崎市大学奨学生《川崎市》	貸与	38,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○ 1年生							○	○		・学部1年生であること ・保護者が川崎市に1年以上居住していること ・学費の支弁が困難であること ・学業成績が優良で品行が善良であること	10名程度	学内選考無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	（公財）森下仁丹奨学会	給付	30,000円／月額	採用決定日より正規の最短修業期間	○	○	○				他の給付型奨学金との併用不可	○	○	○ 推薦あり	・数年間は 東日本大震災被災学生を優先的に採用 ・家計基準 日本学生支援機構第1種の基準に準じる ・学力基準 学部1年生 高校評定値4.0以上、学部2年生以上 前年までに標準修得単位を修得済みであり、かつ前年度までの通算GPA2.8以上	学部5名 院5名	1名	16名	1名	0名
3月	大学推薦	茨城県奨学生（在学採用） 《茨城県》	貸与	自宅：36,000円／月額（無利子） 自宅外：40,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○						日本学生支援機構との併用不可	○	○		・茨城県内に居住する者の子弟であること ・前22年の成績評定が平均3.0以上であること。（特例あり） ・家計基準 家計支持者について、所定の基準以下の者（募集要項参照） ・申請時、留年者は申し込み不可	80名程度	学内選考無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	茨城県奨学生（入学一時金） 《茨城県》	貸与	240,000円／1回（無利子）	1回限り	○						日本学生支援機構一時金給付（240,000円）との併用不可	○	○		・茨城県内に居住する者の子弟で、平成31年度に大学へ進学した者 ・大学卒業後、茨城県内に居住し、茨城県内の事業所で就業する意思があること ・高校の最終22年の成績評定が平均4.3以上であること ・住民税非課税世帯（前年度課税の市町村民税所得割が0円）または生活保護世帯 ・卒業後に茨城県内に居住し、茨城県内で就業した場合に返還を免除する制度あり	14名	学内選考無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	（公財）JPC奨学財団	給付	20,000円／月額 （3ヶ月毎にまとめて支給）	最短修業年限まで	○ 1年生	○ 1年生			30歳以下（2020年4月1日現在）	理工系	併用可	○	○	○ 学費の 交付あり	・2020年4月1日現在、理工系の学部または修士課程の1年生で日本語を有する者 ・学業、人物ともに優秀であり、健康であること	8名程度	2名程度	学部3名 院17名	学部1名 院3名	学部1名 院0名
3月	大学推薦	（公財）米置リッパハンパ財団 《鳥取県・長崎県》	給付	20,000円／月額	最短修業年限まで	○ 2～4年生	○	○		学部満23歳以下 (3年度満期時) 院満33歳以下 (2020年3月31日時点)		併用可	○	○	○	・鳥取県・長崎県内の高等学校等を卒業し、2020年4月現在、学部2～4年生または大学院生であること ・目的となる家計収入の上限は、給与収入世帯の場合、世帯合計収入800万円未満、給与収入以外の世帯は自営業などその他収入340万円未満とする ・成績要件は、原則、前年度までの成績が、GPA3.00以上の者	20名程度 （鳥取県10名、 長崎県10名）	学内選考無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	《宮崎県》宮崎県奨学会 《宮崎県》	貸与	25,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○ 1年生						給付奨学金との併用可 貸与型奨学金との併用不可	○	○		・宮崎県に本籍を有する者または本人の主たる生計維持者が宮崎県内に居住している者 ・令和2年4月に入学した者で経済的理由により修学が困難な者 ・在学中で希望する場合は個別に面談あり	5名程度	学内選考無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	（公財）村井順記念奨学財団	給付	30,000円／月額	最短修業年限まで	○ 1年生					工学系	日本学生支援機構貸与・ 給付奨学金のみ併用可	○	○		・神奈川県内の大学において、工学系の学部で学ぶ学生 ・学業優秀、品行方正、身体強健でありながら、経済的理由により修学が困難な学生 ・財団主催行事（原則年1回）には参加して意欲高揚に努めること	12～13名程度	若干名	4名	3名	3名
3月	大学推薦	（公財）博愛堂教育財団 教職 養成奨学金 ※旧（公財）博愛堂教育振興会 博 報教育養成奨学金	給付	授業料相当額：50,000円／月額 ※授業料免除との併用の場合減額あり ※自宅外生への特別支援額：50,000円／ 月額 ※自宅外生への認定は採用後「自宅外通 学立書」により財団が認定	最短修業年限まで	○					教育学部生で、小 学教員、特別支 援学校教員、中 学・高等学校国語 科教員のいずれか を目指す者	給付奨学金との併用不可	○	○		・教育学部または教育人間科学部の学生で、小学校教員、特別支援学校教員、中学・高等学校国語科教員のいずれかを目指す者 ・学業優秀であり、教員になる熱意、教員としての強み・資質、国語力があると認められる者 ・海外短期留学支援制度（遠航費、留学・活動費の支援）あり ・採用された場合、財団の主催するオリエンテーション、交流会、研究会等へ参加すること	100名程度	2名	1名	1名	1名
3月	大学推薦	フジタ奨学金制度	給付	500,000円／年額 （半年毎に250,000円を支給）	2年間	○ 2年生	○ 1年生			学部25歳以下 (3年度満期時) 院27歳以下 (進学時)	建築系・土木系・ 機械系・電気電子 系・情報系・都市 計画系	給付型奨学金との併用不可 （日本学生支援給付型 奨学金は除く）	○	○	○	・日本国籍を有する者で、建築系・土木系・機械系・電気電子系・情報系・都市計画系を専攻していること ・将来、まちづくりやインフラ整備など建設業を通じて社会貢献をしたい者 ・成績優秀、品行方正かつ健康であり、経済的な理由で就学が困難な者（目安：家計支持者の年収が税込800万円未満） ・面接、認定証授与式、奨学生を対象とした各行事に必ず出席できる者 ・卒業卒業後、大学院（指定校のみ）へ進学する場合、再申請・再審査を経て引き続き2年間奨学金を支給する場合がある	記載無	1名	学部1名 院3名	学部0名 院1名	学部0名 院1名
3月	大学推薦	JEES・出光興産（生産技術）奨 学金	給付	80,000円／月額	最短修業年限まで		○ 1年生				化学工学等のプロ セス技術分野	併用不可（貸与型奨学金 は除く）	○	○		・令和2年4月に、修士（博士前期）課程1年次に正規生として在籍する日本人学生 ・化学工学等のプロセス技術分野を専攻する者 ・修学目的が明確で、支援の効果が期待できる者 ・心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者 ・本奨学金の受給期間中、他の奨学金を受けない者（貸与型は除く） ・採用された場合、協会または寄付者の要請に応じ、アンケート等への回答および交流会・インターンシップ（1週間程度）等に参加しなければならない ・採用された場合、受給期間終了まで本奨学金を辞退して他の奨学金を受給することはできない	3名程度	1名	3名	1名	1名
3月	大学推薦	＜新規財団＞ JEES・出光興産（潤滑技術）奨 学金	給付	80,000円／月額	最短修業年限まで		○ 1年生				トライボロジーに 関わる機械、電 気、電子、化学、 材料、ものづくり などの工学分野	併用不可（貸与型奨学金 は除く）	○	○		・令和2年4月に、修士（博士前期）課程1年次もしくは2年次、または博士（博士後期）課程1年次に正規生として在籍する日本人学生 ・トライボロジーに関わる機械、電気、電子、化学、材料、ものづくりなどの工学分野を専攻する者 ・修学目的が明確で、支援の効果が期待できる者 ・心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者 ・本奨学金の受給期間中、他の奨学金を受けない者（貸与型は除く） ・採用された場合、協会または寄付者の要請に応じ、アンケート等への回答および交流会・インターンシップ（1週間程度）等に参加しなければならない ・採用された場合、受給期間終了まで本奨学金を辞退して他の奨学金を受給することはできない	2名程度	1名	4名	1名	0名
3月	大学推薦	＜新規財団＞ （一財）大森昌三記念財団	給付	30,000円／月額	最短修業年限まで	○ 2～3年生	○	○		学部満23歳以下 院満33歳以下 (2020年4月2日 時点)		併用可	○	○	○	・ものの作りに携わり、技術の向上およびもの作りに関する研究を行う者 ・出願する年の4月現在、大学第2・3年生、大学院修士課程または博士課程に在籍する者 ・健康で、学業成績、人柄ともに優れており、学費の支弁が困難と認められる者	15名程度	5名程度	学部4名 院15名	学部1名 院1名	学部0名 院0名
3月	大学推薦	＜新規財団＞ （一財）ナガワひまわり財団	給付	30,000円／月額	最短修業年限まで	○ 2～4年生	○	○		学部満23歳以下 院満28歳以下 (2020年4月1日 時点)		併用可	○	○		・2020年4月現在、学部2～4年または大学院に在学者（2020年4月1日時点で学部満23歳以下、大学院満28歳以下） ・原則、前年度までの成績（GPA）が3.00以上の者 ・給与収入世帯の場合は、世帯合計収入800万円未満、給与収入以外の世帯の場合は、自営業等その他収入400万円未満	35名程度	2名程度	学部16名 院20名	学部2名 院0名	学部1名 院0名
3月	大学推薦	＜2020年度で募集終了＞ （公財）浦上奨学会《広島県》 （西日本奨学特別奨学生）	給付	50,000円／月額 一時金：500,000円／初回のみ	最短修業年限まで	○						他の給付奨学金との併用不可 （ただし日本学生支援機 構の貸与・給付、授業料 免除は併用可）	○	○		・本家内による災害救助法適用地域に在住、若しくは同地に実家が有り、学費や生活費を払う両親が被災したり家庭が傾倒するなど、経済的に修学が困難な者 ・心身ともに健康であり、品行方正で学習意欲が高い者	10名	1名	0名	0名	0名
3月	大学推薦	（一財）鹿野学術振興財団	給付	50,000円／月額（年間600,000円）	1年間	○ 1～3年生	○ 1年生				科学技術関係	他の奨学金との併用不可 （ただし日本学生支援機 構の貸与・給付、授業料 免除は併用可）				・2020年4月1日現在、学部1～3年生もしくは大学院修士課程1年生に在籍している者 ・科学技術関係（電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、材料工学、化学関連、医療機器関連、健康・福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等）を専攻している者 への就職を希望していること ・過去に当財団の奨学生に採用されたことがないこと	若干名	学内選考無	1名	1名	0名
3月	直接応募	（一財）鹿野学術振興財団	給付	50,000円／月額（年間600,000円）	1年間	○ 1～3年生	○ 1年生				科学技術関係	他の奨学金との併用不可 （ただし日本学生支援機 構の貸与・給付、授業料 免除は併用可）	○			・2020年4月1日現在、学部1～3年生もしくは大学院修士課程1年生に在籍している者 ・科学技術関係（電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、材料工学、化学関連、医療機器関連、健康・福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等）を専攻している者 ・卒業後は製造業への就職を希望していること ・過去に当財団の奨学生に採用されたことがないこと	若干名				
3月	直接応募	（公財）ダイオース記念財団	給付	10,000円／月額	最短修業年限まで	○ 2～4年生	○	○		学部満23歳以下											

【令和2年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和2年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。

※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内の あった 時期	申請方法	奨 学 会 等 名	給付／ 貸与	金額（円）	受給期間	課 程				年 齢	専 門 分 野	併用条件	出 願 資 格 等			その他の主な要件	全体での 採用者数	大学 推薦枠	学内 申請者数	大学 推薦者数	大学 採用者数
						学部	修士	博士	研究生				学力 優秀	経済 困難	面接						
3月	直接応募	和歌山県奨学金返還助成制度	返還 補助	奨学金返還金に相当する額（最大 1,000,000円）	参画企業に就職し 3年勤務後	○	○	○			理工系、情報系			○	・以下の全てに該当する者 ・日本学生支援機構奨学金またはその他の貸与型奨学金（知事が認めるもの）の返還予定者または返還中の者 ・理工系、情報系の学部・研究科（学府）に在籍し、平成31年3月卒業（修了）予定の者 ・対象企業（和歌山県労働政策課HP参照）が実施するインターンシップまたは企業説明会に参加予定の者 ・卒業（修了）後、対象企業に継続して3年間以上勤務することを予定している者	50名					
3月	直接応募	いわき市未来につなぐ人財応援奨学金返還支援事業	返還 補助	在学中に貸与を受けた奨学金の2分の1の額 ※ただし、（64,000円×奨学金貸与月数）の2分の1の額又は1,536,000円のいずれか少ない額を上限とする		○	○	○							・学部、大学院に在学中で令和2年度に修業年限以内で卒業（修了）予定の者（2021年3月に卒業予定の者） ・在学中に日本学生支援機構第一種奨学金・第二種奨学金、いわき市奨学金、福島県奨学金、いわきCC奨学金の貸与を受けている者 ・卒業（修了）した翌月1日から起算して6か月以内に市内事業所等（詳細は募集要項参照）に正規職員または所定労働時間が正規職員に準じる職員として就職することを予定している者 ・卒業（修了）後、いわき市内に定住することを予定している者	50名程度					
随時	大学推薦	JASSO支援金	給付	100,000円／1回	同一の災害につき1回	○	○	○				併用可		○	・自然災害等の発生により、居住する住宅（学生またはその生計を維持する者が生活の本拠として日常的に使用している日本国内の住宅をいう）に半壊（半流出・半埋没および半焼失を含む）もしくは床上浸水以上の被害を受けた場合または自然災害等による危険な状態が発生し、自治体の避難勧告等による住居への立入禁止等が1か月以上継続した場合 ・学修に意欲があり、修業年限で学業を確実に修了できる見込みがあると学長が認める者 ・入学前、休学中、成績不振により留年中に発生した災害は対象外 ・申請は随時受付（自然災害等の申請事由の発生月の翌月から起算して6か月を超えない期間内かつ在学中であること）	記載無	学内選考無	3/31 ㄹ	3/31 ㄹ	3/31 ㄹ	
随時	大学推薦	石川県育英資金《石川県》 【緊急採用】	貸与	44,000円／月額（無利子）	採用決定から採用年度末まで（継続申請あり）	○						日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けていない者	○	○	・保護者等が石川県内に現に引き続き3年以上居住していること ・家計が急変した者（主たる家計支持者の解雇、早期退職、再就職したが収入が著しく減少、死別、離別、破産、病気、事故、会社倒産、経営不振、火災、風水害、震災等の災害等） ・圖書は随時受付	5名以内	学内選考無	3/31 ㄹ	3/31 ㄹ	3/31 ㄹ	